

住民税・国保税等の申告は2月から

住民税・国保税等 税の申告受付 が始まります！

今年度も2月中旬から3月中旬まで、各地区公民館等を巡回して申告受付を実施します。

日程は振興会を通じての回覧や町ホームページ等にて別途お知らせします。

税務課や町民生活課窓口に来庁し、申告をする方がいますが、窓口での申告受付は混雑し長時間待たせるだけでなく、申告以外の他のお客様の迷惑にもなります。

決められた日に都合の悪い場合は、申告予備日をご利用ください。（申告受付は休日および夜間窓口も設定しています。）

また、申告受付開始前は、課税資料整理のため受付できません。

申告は決められた日に
収入計算書は必ず記載を

確定申告は自宅からできます！

スマホで、給与所得、年金収入や副業等の雑所得の申告のほか、事業所得や不動産所得の青色申告決算書（収支内訳書）や消費税の申告書も作成でき、自宅からe-Taxで申告することが出来ます。

詳しくは、国税庁ホームページをご覧ください。国税相談専用ダイヤルにお尋ねください。

0570(00)5901
鹿屋税務署
0994(42)3127
※自動音声案内



国税庁ホームページ
「確定申告書等作成コーナー」



国税庁ホームページ
「動画で見る確定申告」

★令和8年度以降に適用される個人住民税の主な改正点

物価上昇局面における税負担の調整及び就業調整対策の観点から、給与所得控除の見直し、各種扶養控除等に係る所得要件額の引上げ、大学生年代の子等に係る新たな所得控除の創設等が行われることとなりました。

①給与所得控除の見直し

給与の収入金額が190万円以下の方の給与所得控除について、**最低保証額が最大10万円引き上げられます。**

（改正前55万円↓改正後65万円）

②扶養親族等の所得要件の改正

扶養控除等の適用を受ける場合の**所得要件が10万円引き上げられます。**

③特定親族特別控除の新設

納税義務者に19歳以上23歳未満である特定控除対象扶養親族がいる場合、その納税義務者の前年の総所得金額等から所得税は63万円、住民税は45万円を控除することとされていますが、**令和8年度個人住民税から特定親族特定控除として、当該親族の合計所得金額に応じて控除を受けられるようになります。**

別表（②関連）：扶養親族等の所得要件

所得要件	改正前	改正後
同一生計配偶者及び扶養親族の合計所得金額	48万円	58万円
ひとり親控除の対象となる子の総所得金額	48万円	58万円
雑損控除の適用を認められる親族に係る総所得金額等	48万円	58万円
勤労学生の合計所得金額	75万円	85万円
家内労働者の特例における必要経費に算入する金額の最低保障額	55万円	65万円

別表（③関連）：特定親族特別控除の新設

扶養親族の合計所得金額（給与収入金額）	控除額
58万円（123万円）超～95万円（160万円）以下	45万円
95万円（160万円）超～100万円（165万円）以下	41万円
100万円（165万円）超～105万円（170万円）以下	31万円
105万円（170万円）超～110万円（175万円）以下	21万円
110万円（175万円）超～115万円（180万円）以下	11万円
115万円（180万円）超～120万円（185万円）以下	6万円
120万円（185万円）超～123万円（188万円）以下	3万円



※譲渡所得のある方（土地・建物を個人や公共団体に売買した方）については、税務署に「譲渡所得の内訳書」を提出する必要があります。売買額が高額な場合や所得税の発生する場合は、直接税務署にて申告してください。

※税務署から申告の案内が来ている方については、税務署での申告をお願いします。
なお、税務署で確定申告をした場合、後日町へ申告書が送付されますので、改めて役場で申告する必要はありません。

お問い合わせ先
肝付町役場 税務課
0994(65)8414
内之浦総合支所町民生活課
0994(67)2111